

# とっとり 県議会だより

令和2年9月定例会

No.034

Sep.  
9月  
議会

主な記事 Contents

代表質問 ……	2~3p
一般質問 ……	4~8p
お知らせ ……	8p
常任委員会活動 ……	9p
議決結果 ……	10~11p
特集 ……	12p



公益社団法人 日本ボート協会 提供

## 9月定例会の概要

9月定例会は9月11日、平井知事から総額18億円余の令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第5号)や鳥取県青少年健全育成条例の一部を改正する条例など17議案が提案されて開会した。

本会議では、代表質問は県議会自由民主党と会派民主が行い、一般質問には24名の議員が登壇。知事らと議論を展開した。

会期中、公安委員会委員と教育委員会委員の人事案件2議案、また、会期中に発生した豪雨災害からの復旧を果たすための令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第6号)が追加提案された。

審議の結果、20件の知事提出議案全て

を原案どおり可決、同意した。議員提出議案については3議案を提案し、原案どおり可決した。

陳情については、1件を採択、2件を趣旨採択、4件を不採択、1件を研究留保と決し、10月8日に28日間の会期を閉じた。

## 8月臨時会の概要

8月臨時会が8月25日に開催され、知事から、鳥取県新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例など3議案が提案された。

本会議での質疑、常任委員会での審査を経て、条例については修正の上、意見を付けて、その他の議案については、それぞれ原案どおり可決して閉会した。

### 表紙の写真

とみた ちあき  
富田 千愛 選手  
(米子市出身)

- ・リオデジャネイロ五輪(2016年8月)  
軽量級ダブルスカル12位
- ・ボート世界選手権(2019年8月)  
・オーストリア)  
軽量級シングルスカル2位



## 新型コロナウイルス感染拡大防止にご協力をお願いします

新型コロナウイルス感染症特設サイト  
最新情報、相談窓口などを確認できます。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/corona-virus/>

キーワード 鳥取県 新型コロナ 🔍 検索



# 代表質問

## 鳥取県議会自由民主党



選挙区 鳥取市  
島谷 龍司 議員

### 十年後の鳥取県の将来像

**問** 新型コロナウイルス禍後のニューノーマル(※1)への認識とその上で2030年の本県の将来像をどのように描いて県政を運営するのか。

**答** 議会とも議論を交え、感染拡大防止対策を基本に、同時に経済社会を動かしていくという視点を策定の最終段階にある将来ビジョンに反映し、県政を運営していく。

### コロナ禍での財政基盤強化

**問** 知事は県政運営の基本方針に財政誘導目標を掲げているが、コロナ禍により大幅な収入減が見込まれるため、財政誘導目標を見直し、県民に示すべきではないか。

**答** コロナ関連事業による基金の大

幅な取崩し、県債残高の指標となる県内総生産の落ち込みなど、議員指摘のとおりに財政誘導目標を見直す必要があると考える。

### 大規模自然災害への対応

**問** 頻発する豪雨災害への対応として、堤防強化、バックウォーター(※2)対策、流域貯留施設の検討や着実な河川整備の進捗状況と今後の段階的取組の方向性、またコロナ禍での避難計画について伺う。

**答** ハード、ソフト両面にわたり水防を進める必要がある。また、避難所のコロナ対策が大切であり、分散避難の実施など運営マニュアルを見直したところである。

### 県内経済の立ち上げに向けて

**問** 新型コロナウイルスにより社会全体が大変革期を迎え、Society5.0(※3)社会への取組の加速化が予測される。本県のような地方では持続可能な産業の発展のため先進性を保ち、先端技術の実装に取り組む必要があるが知事の所見を伺う。

**答** 新型コロナウイルス克服を最大テーマに

Society5.0を取り込んだ産業振興未来ビジョンを作成することも、技術開発に伴う社会変革を起こす本県ならではの情報技術活用推進計画を策定していきたい。

### 共生社会の実現に向けて

**問** 長期化するコロナ禍の影響で貧困問題が深刻化している。喫緊の課題として生活困窮者に寄り添うアウトリーチ(※4)型支援が必要。どのように取り組んでいくのか。

**答** このことはコロナ以前から議員に随分指摘されているが、こういう時だからこそ支援体制整備の推進員を設置し、きめ細かなアウトリーチ型支援を全県展開する。

### 県の顔鳥取駅周辺の活性化

**問** 県の顔である鳥取駅周辺の価値を向上させ、人の回遊、滞留を増加させるため、このエリアの活性化に向けたビジョン策定について、鳥取市や経済界等と共に積極的に関与すべきだ。知事の所見は。

**答** 鳥取駅周辺の事業はこれまで県市共同で実施し、現在も県、市、商工会議所等で意見交換を行っている。市の駅前再生プランが出来上がれば県市の推進機関が必要と考えており、その方向性を含めてフォローアップしていきたい。

### 鳥取港の振興について

**問** 県東中部、但馬エリアの産業振興や地域活性化を図る上で鳥取港をどう位置づけ、物流・人流の拠点化を進めていくのか伺う。

**答** 鳥取港長期構想を策定し、周辺エリアの結節点、但馬、美作地域も含めた賑わい交流拠点として港の機能を向上させていく。

**問** 南北線開通を見越して、不足している関連用地確保に後背地の賀露、千代水地区の未利用地の活用検討を加速すべきではないか。

**答** 当該地域は南北線のインターチェンジが計画されており、早期の都市計画決定に結び付けていくためにも、地元のご意見を聞きながら、どういった解決策があるのか鳥取市と協議を重ねていきたい。

### 本県を支える人材の育成

**問** ふるさとキャリア教育により高校卒業後、県外へ巣立った子どもたちが本県に戻ってくるような人材育成を図るべきだがどうか。

**答** (教育長) ふるさとキャリア教育は故郷に愛着を持ち、継承発展させようという意欲気概を持った児童生徒の育成を目的としており、県外進学者が県内に就職するようしっかりと取り組んでいきたい。

※1 ニューノーマル：新しい常識・状況 ※2 バックウォーター：河川や用水路などにおいて、下流側の水位の高低などの変化が上流側の水位に影響を及ぼす現象 ※3 Society5.0：第5期科学技術基本計画において提唱された我が国が目指すべき未来社会の姿 ※4 アウトリーチ：支援が必要であるにもかかわらず届いていない人に対し、行政や支援機関などが積極的に働きかけて情報・支援を届けること

# 代表質問

会派 民主



選挙区 鳥取市  
坂野 経三郎 議員

## 財政・経済・雇用

**問** 働くことは、生きること。仕事を失うというのは、人生を失うこと。全力で雇用を守るべきだ。

**答** 新型コロナウイルスの影響が、経済社会に深く及んでいる。思い切った対策が、これからも求められる。

## 人権尊重社会の実現

**問** 鳥取県内でネット上の誹謗中傷により、現実生活で苦しんでおられる当事者の立場を踏まえ、踏み込んだ条例を改正すべきだ。

**答** クラスター対策条例は時限立法にした。教訓が恒久的に生きるように、人権尊重の社会づくり条例の中にも反映させていく。

## 男性の家庭参画推進

**問** 鳥取県内の父親と母親の家庭参画の時間は、76分と414分。日本の男性の平均は83分。この格差のある状況は、改善すべきだ。

**答** 第5次男女共同参画推進計画では、例えば100分とか、具体的な目標を掲げて対策を講じる。

## 格差是正と文化芸術

**問** 『成功して豊かになって直面した現実』は、格差の拡大。さらに、物質的に豊かになっても心が豊かになるわけではない。という話を聞いた。コロナ禍に心を満たしてくれる文化芸術に注力すべきだ。

**答** とっとりアート支援事業や、認証事業所であるアフターアワーズや鳥の劇場のように、灯を絶やさぬよう地域でも支援していく。

## 鳥取らしい行財政改革

**問** 県民の税金を1円たりとも無駄に使ってはいけないが、経済効率性だけで語ってはならない。高齢者にも障がい者にも誰しも居場所がある

る、そんな鳥取県らしいPPP、PF1の取組が必要だ。

**答** 配慮を今後も求める方針だ。

## 災害時の避難体制

**問** 避難所は、濃厚接触者を考慮し、公助自助の両方を高めるべき。

**答** 分散避難が、非常に重要だ。

## 保健所体制について

**問** 保健所は、鳥取市では一つの部局。だが県では福祉保健部と生活環境部に分岐。住民から見た分かりやすさや専門人材の融通などの機能強化のため、一元化すべき。

**答** 時期を見て組織を再検討する。

## 風力発電事業について

**問** 東京の会社の事業の許認可を震が関でやる。そこに地元の皆さんの声は届かない。地元に向くように、国に要望すべきだ。

**答** 地元への説明が進まないことは、非常に遺憾。政府に、発電所のあり方、対応を求めていきたい。

## 若者に魅力ある農業

**問** 若者が積極的に参加したい農業をつくるべき。販売額1,000万円の農家数の目標を定めるべき。

**答** 鳥取に住んで農業をやりたくなくなる指標を、皆さんと相談する。

## 事業引き継ぎについて

**問** 中小企業・小規模事業者が鳥取を支えている。後継者不足で悩んでおられる方に、県からもアプローチして対策を実施すべきだ。

**答** 事業承継で雇用を守ることを、強く押し出していく。

## 薬物依存症からの脱却

**問** 薬物事犯の実態や取締状況は。

**答** (警察本部長) 薬物事犯の検挙人員は36人で、うち6割が覚醒剤事犯。再犯率が高いので、関係機関と連携して、根絶に向けた薬物対策を推進する。

**問** もう一度やり直そうと思ってる方が相談をして、一緒に乗り越えていく仲間をつくることに、県として力を入れるべきだ。

**答** 保護観察所や関係当局とも力を合わせてネットワークを形成する。互いに支え合う断酒会のような組織で頑張ることへも、県として支援する。

## 特別支援学級について

**問** 現状のあり方では、その支援の網からこぼれ落ちてしまう子どもがいるため、制度変更が必要だ。

**答** (教育長) 学校現場の状況なども踏まえ必要な要望は国に行く。

代表質問

一般質問

お知らせ

常任委員会活動

議決結果

# 一般質問

## 会派正式名称

### 【自由民主党】

鳥取県議会自由民主党

### 【会派民主】

会派民主

### 【公明党】

公明党鳥取県議会議員団

## 答弁者説明

答弁者は、記載のないものは知事（各部署長の答弁も含む）。教育長、警察本部長、病院事業管理者は知事の部局ではないため、別に表記した。

9月定例会では、24人の議員が一般質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。

また、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧いただけます。

※掲載に時間がかかる場合があります。



鳥取県議会 議事録

検索



飛沫感染防止のためのアクリル板を設置しました。

## ①農林水産業対策 ②江原道との関係維持



鹿島 功 議員

選挙区 西伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①コロナ禍で農業生産1千億円達成プランの軌道修正が必要。県産木材に積極的な支援を②韓国の土下座像、DBSクルーズ船の境港無寄港問題は遺憾。江原道との友好関係を問う。

**答** ①計画年次を3年ほど遅らせ、実現可能な力強い生産振興を図る。県産木材利用の助成制度をつくり売り込みを図る②是は是、非は非とし、冷静に目の前の現実を見据え、お互いの信頼関係を育むことが重要。関係を直ちに見直す局面ではない。緩やかな発展をさせていく。

## ①誹謗中傷 ②COCOA ③安心登録システム



常田 賢二 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** ①今後誹謗中傷にどう立ち向かっていくのか②コロナ陽性者に登録してもらうには③新型コロナウイルス対策安心登録システムをどのレベルで導入を進めるのか。

**答** ①県民みんなで誹謗中傷をやめようとアピールしていくことが大切。先行してクラスター対策条例や県民宣言を採択し、市町村と共同で行動を起こしていく②プライバシーに十分配慮していると周知徹底を図り、働きかけていく③GoToイートやイベントの助成事業などの補助要件に加え徹底を図っていく。

## 観光振興、こどもの国豚熱感染対策について



銀杏 泰利 議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** ①マイクロツーリズムに目を向け、県民限定の県内観光キャンペーンを②こどもの国自体を整備し直す必要がある。いっそ鳥取市に移管すれば、整備構想に沿って一体的に整備運営ができるが③豚熱への対応は。

**答** ①追加の県民向けも検討する②鳥取市のプランづくりに注目したい。その後県も支援や協議に応じていく。議員の提案も鳥取市側とフラクに協議したい③飼育豚へのワクチン接種を優先させ、野生イノシシにも進める準備を始めている。

# 一般質問

## 今後のコロナ対策、第5次男女共同参画計画



**尾崎 薫 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 会派民主

**問** ①インフルエンザ流行期を前に国が軽症・無症状者を宿泊所・家庭療養とする方針だが、県は入院措置を続けるべき②感染者等の情報公表の仕方では誹謗中傷に繋がる。プライバシーに配慮すべき③第5次男女共同参画計画に「性と生殖に関する健康と権利」と「女性の政治参画の推進」を明記すべき。

**答** ①県としては軽症者等も入院措置を続け感染拡大を防ぎたい②公表は個人の特定がされないよう配慮する③これらは計画の中に表現していく。

## 自然環境の資源回復「清流に棲むアユ」



**澤 紀男 議員**  
選挙区 米子市  
会派 公明党

**問** アユは澄んだ清流を好み、ある面、水の水質のバロメーターとなる。県内の千代川、天神川、日野川の天然アユの遡上量は年々大きく減少し早急な資源回復が求められる。アユ減少の要因分析と取組、河川等の自然環境整備について伺う。

**答** 原因はまだ究明できていない。国の研究所といろいろな県が合同で調査を始める。また魚道として石を積み上げるような形の「小わざ魚道」を配備するとアユの遡上量は上がる。できる限りの魚道整備の進捗を図る。

## 鳥取県男女共同参画条例と表現の自由について



**松田 正 議員**  
選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** 倉吉市の小・中学校で流された「スタミナ納豆の歌」の歌詞の一節「女子力が上がる」というフレーズが、県男女共同参画推進員より「男女共同参画の観点から問題なしとは言えない」と指摘されたが所見を伺う。

**答** 倉吉の問題。非常に熱心なガールズバンドの皆さんが給食を盛り上げよう、子どもたちに栄養をしっかりと取ってもらおう、一人一人の個性があつていいのだという想いで創られた歌。使うか使わないかは県が口を差し挟むべきものではない。

## 産業振興と港湾整備、自然保護ボランティア等



**山口 雅志 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** ①産業振興と港湾整備の方向性②自然保護ボランティア活動への県の支援策③教育への民間情報資産活用、特に動画活用。

**答** ①港湾整備に合わせ、輸出入定期就航に向けた継続支援を行う。企業立地、関連産業の工業団地整備等、港湾と産業振興を将来ビジョンに組み入れ推進する②生物多様性推進センターを県庁内に作り各種ボランティア活動、NPO等々とのネットワークを作り推進する③(教育長) 既存のデジタル映像等活用できるものは利用していきたい。

## デュアルスクール(※)、福祉交通の観光活用など



**福浜 隆宏 議員**  
選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①デュアルスクール導入を②空白地域の福祉交通を観光客の二次交通にも活用を③観光客の現地消費を増やすためサービスの質と量の見直しを④ヘルスキーパー(企業内理療師)啓発を⑤県内での修学旅行の継続を。

**答** ①移住や二地域居住につながり真剣に検討すべき時②国の規制緩和で可能に。周知を図る③儲け代があり満足度を高める仕掛けを議論する④障がい者雇用や健康志向企業に向け周知を図る⑤(教育長) 遠足なども含め、ふるさと教育の視点で議論していく。

## コロナ禍での漁港・港湾・空港の現状と今後



**安田 由毅 議員**  
選挙区 境港市  
会派 自由民主党

**問** ①新型コロナウイルスの影響を受けた各施設への対応策②各施設の機能を最大限発揮するため、また商都米子復活のためにも米子境港間の高規格道路が必要であるが実現に向けての行程は。

**答** ①境漁港は、魚価を含めて対策する。境港湾については、現状厳しいことは十分認識、事業継続のためフォローアップする。米子空港は、新たな賑わい創出に県も協力する②2市1村と県でルートの考え方について協議している。一日でも早い着手に向かえるように全力を挙げる。

※ デュアルスクール：地方と都市の2つの学校の行き来を容易にし、双方で教育を受けることができる新しい学校のかたち。

# 一般質問

## コロナ禍での誹謗中傷 持続可能な農業生産



語堂 正範 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①誹謗中傷等が、クラスター対策条例、共同行動宣言により抑制された。このスキームは他の差別事象にも活用できるかどうか②GAP(※)の取組がトーンダウンしている。輪作、景観作物、農福連携等を推進しては。

**答** ①人権尊重の社会づくり条例と併せてノウハウを残していきたい②GAPはさらなる推進を検討。連作障害対策として、輪作等の取組が広がることは地域活性化や新しい特産物を生み出す。目標数値を定め、付加価値のある農業に繋げていく。

## コロナ対策、風力発電、 空中給油機、精神医療



市谷 知子 議員

選挙区 鳥取市  
会派 無所属

**問** ①コロナ対策①医療機関の減収補填②10月以降も昨年実績で病児保育に交付金を③環境破壊懸念の鳥取市の大規模風力発電計画撤回を④不具合ある新型空中給油機は配備了承するな⑤県立中央病院の精神科医師確保。

**答** ①①経営支えるのは国責務。県も支援を展開②継続を言っている③住民意見踏まえしっかり意見を述べ、知事意見の履行状況を確認し地元で注意払う④米子市・境港市の判断を尊重し考えまとめる⑤(病院事業管理者)来年度常勤医師実現したい。

## 令和3年度予算編成、 童謡唱歌の普及等



藤井 一博 議員

選挙区 東伯郡  
会派 自由民主党

**問** ①ポストコロナ時代を見据え、次年度予算編成のあり方を問う②唱歌「ふるさと」について、諸外国への普及に努めるべきでは③学校教育とわらべ館の連携はどうなっているか。

**答** ①医療提供体制等を含めた新型コロナ対策、多極連携型の国づくり、行政のデジタル化等をテーマとし予算編成を行う②海外への研究展開等、関係先にお勧めする③(教育長)童謡コンサート、社会科見学等の活動を通して日々連携を図っている。引き続き取組を進めていく。

## 新型コロナウイルスとは どういう病気か？



川部 洋 議員

選挙区 倉吉市  
会派 自由民主党

**問** 新型コロナウイルスは一類の感染症ほどの致死率はなく、季節性インフルエンザとそう変わらないのではないかと恐れることはないのか。

**答** 全く違う。そういう議論が拡散しているのは非常に迷惑だ。専門家の認識はインフルエンザとは明らかに違うということであり、そうしたデマを基に対策を緩めるのは、命と健康を守る県の立場から絶対にとらない。とはいえ、単純に恐れるだけではなく、コロナとの共存を柔軟に考えていかなければならない。

## インフルエンザ流行期に 備えたコロナ対策



由田 隆 議員

選挙区 倉吉市  
会派 無所属

**問** 新型コロナウイルスとの長期戦の中、コロナと症状が酷似しているインフルエンザ流行期に伴う医療機関の混乱や医療崩壊が心配される。これらに備えた本県のPCR検査や医療体制を東部中部西部の医療圏ごとに伺う。

**答** PCR検査や医療体制は東中部西部の医療圏の医師会や医療機関を活用して1日2,800件を目標に調整中である。入院の医療体制は医療機関の協力の中、病床数は東部115、中部53、西部145となっている。また、宿泊療養施設も圏域ごとに調整済み。

## 介護・障がい福祉包括 支援交付金の周知を



濱辺 義孝 議員

選挙区 鳥取市  
会派 公明党

**問** コロナ禍の中、介護・障がい福祉事業所において、多くの施設で人手不足による濃厚接触など、運営や労働力に大きな負担が掛かっている。現状を踏まえ創設した、介護・障がい福祉包括支援交付金の周知不足を感じる。周知方法について問う。

**答** 申請においては、包括支援金と慰労金の申請が一遍にできるよう簡素化を図っている。全事業所に制度についても郵送し知らせている。なお一層丁寧な案内、個別相談に乗り、フォローアップをしていきたい。

※ GAP：農業生産工程管理（Good Agricultural Practiceの略）。

# 一般質問

## ①青少年健全育成条例改正 ②クラスター対策条例



西村 弥子 議員

選挙区 米子市  
会派 会派民主

**問** ①㉞児童ポルノ画像要求行為の罰則適用範囲は①青少年同士の行為にどう対処するか②㉞店名公表の事業者への対応は①協力金の額等具体的説明を求む。

**答** ①㉞刑法の正当業務行為以外は幅広く罰則を適用。「画像要求は駄目」の社会規範を作る①青少年も禁止対象。学校・警察等一体で啓発に取り組む（警察本部長）指導・補導ほか保護処分の手続も行う②㉞過度な営業侵害しない配慮①1日2万円、上限30万円標準。店の規模や具体の損害に応じ柔軟に予算を執行。

## 県立夜間中学が 今、本当に必要か



伊藤 保 議員

選挙区 東伯郡  
会派 会派民主

**問** 令和5年か6年の開設を目指し、県立夜間中学の検討が進められている。学びの保障、学びの機会を設けることには賛成だが、ニーズ調査が不十分ではないか。不登校の学齢期の生徒も対象にされているが、既存の制度に課題があるのか。

**答**（教育長）教育機会確保法の制定により、各県に夜間中学の設置が定められた。改めてニーズ調査をしっかりと共に必要性について、議会や県民の皆様にも納得いただける判断材料を揃え開設に向けた検討をしたい。

## アフターコロナの 企業誘致について



内田 隆嗣 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** アフターコロナを見据えた新ビジネス展開支援事業という予算が計上されている。隼Lab.のような成功事例もある。来年度当初予算に向け知事の所見を伺う。

**答** 新たなビジネス拠点として、隼Lab.には東京から来た企業や地元のベンチャービジネスの企業がある。国も当初予算に向けて、地方創生に絡めたテレワークの拠点づくり、サテライトオフィスなど、150億円の予算要求を求めている。県としてもしっかりと対応したい。

## コロナ禍の地元雇用・ 公共工事のあり方



山川 智帆 議員

選挙区 米子市  
会派 無所属

**問** 西部総合事務所の新棟整備事業について、多くの県民の声を聴いた。従来の公共工事の方がいい。PFIにしたら大手商社、大手ゼネコンしか取れない構造。正直なところPFIがわからない。説明を求める。

**答** 公共事業を一定程度やりながら、財政の健全性を確保する。

**問** 県の立場、分かる。でも、この事業で庁舎が分散になると、一番不利益を受けるのは、交通弱者。コストだけではなく、利便性の検証及び本当に地元の仕事が回るか。チェックが必要。

## ロービジョン外来と ナラ枯れ対策について



浜田 妙子 議員

選挙区 米子市  
会派 会派民主

**問** ①昨春鳥大病院にロービジョン外来ができ、その効果を障がい者手帳取得数で見ると東部が低い。多岐にわたる課題解決のためにも県が司令塔での連携を②5億円の税金を投じたナラ枯れ対策は、もっと広がった。過去の検証と今後の対策、民間関係者との情報交換が必要だ。

**答** ①東部での開設を後押しし精神的に実現に向かっていきたい②新年度に専門家会議を作り戦略的に進めたい。県有地で今モデル園地を考えており民間団体と一緒に対策を進めたい。

## 信号機のない横断歩道 での交通事故防止



森 雅幹 議員

選挙区 米子市  
会派 会派民主

**問** 信号機のない横断歩道での待機者に対し、自動車は停車しないと違反だが、本県の停車率の現状をどう分析し、またどうあるべきと考えているのか。

**答** 全国調査によると25%の車が停車をしている程度。横断歩道に人がいれば止まるという原則を守ることによって防げる事故はたくさんある。意識改革が大切なポイントなので、交通安全の協議会、運行管理者協議会等に働きかけるとともに、県政番組、県政だより等広報手段を通じて広報もしてまいりたい。

# 一般質問

## 過疎地域の自治体立病院について



内田 博長 議員

選挙区 日野郡  
会派 自由民主党

**問** ①自治体病院の地域包括ケアシステム推進の取組評価を交付税措置対象とするよう要望。②医師の臨時定員削減は、まだ医師不足があり中止すべき。③地域の総合診療医の育成を自治医科大学に要請してほしい。

**答** ①交付税措置の対象など、持続可能な運営支援を要望する②厚労省に、医師供給ストップは現実に合致していないことを強く申入れ、先送りとなった③診療科目専門医の養成と共に地域医療の専門医養成も自治医大に申し入れる。

## ポストコロナにおける官民連携のあり方



野坂 道明 議員

選挙区 米子市  
会派 自由民主党

**問** ①米子市新体育館の駐車場を整備し、駐車場有料化や減免制度を見直すべき②スポーツコミッションを立上げ取組強化を図るべき③県西部に動物愛護センターを整備すべき④フレイル対策の全県への波及を図るべき⑤花回廊の委託期間は3年としバンドリング(※)等を検討すべき。

**答** ①米子市と協議する。必要な施設から重点的に検討する②役割や運営を検討する③新年度に考える④米子市のような取組を広げていく⑤そのように環境を整え公明正大に議論する。

## ①国土強靱化と過疎法 ②青谷上寺地遺跡活用



中島 規夫 議員

選挙区 鳥取市  
会派 自由民主党

**問** ①令和2年度末期限の国土強靱化緊急対策と過疎法の国動向と知事の行動方針は②整備の進む青谷上寺地遺跡の活用法は。

**答** ①9月30日概算要求に事項要求で載っており国交省は令和3年度以降も緊急3か年水準超え予算確保すると考える。過疎法も知事会として議員立法成立を働きかけている。両方成立に向け行動する②令和5年ぐらいを目標に上寺地遺跡を順次オープンする。高速道路整備と共に泊まって食べてアクティビティを楽しむ観光商品造成を進める。

## 県議会からのお知らせ

### 11月定例会の日程案

期 日	日 程
11月 26日(木)	本会議(開会・提案理由説明)
27日(金)	常任委員会
30日(月)	本会議(代表質問)
12月 2日(水)	本会議(一般質問・質疑)
3日(木)	
7日(月)	
8日(火)	
10日(木)	
11日(金)	
15日(火)	常任委員会
16日(水)	特別委員会
17日(木)	本会議(採決・閉会)

※ 日程は変更の可能性があります。  
※ 午前10時開始の予定です。

### パソコン・スマートフォンで ご覧いただけます

本会議、常任委員会、特別委員会などの生中継と録画中継のインターネット放送は、パソコン・スマートフォンからご覧いただけます。

また、本会議はケーブルテレビでもご覧いただけます。

鳥取県議会ホームページは  
こちらから→



### みなさまへ

県民のみなさまに、より身近な広報紙づくりのため、「内容の充実」など、みなさまのご意見をぜひお聴かせください!

(広報委員 Y)



※ バンドリング：同種又は異種の複数施設を一括して事業化する手法

# 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審査に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

## 総務教育常任委員会

9月定例会では、9月に発生した豪雨被害の復旧、支援などを盛り込んだ一般会計補正予算追加議案を含む本委員会所管の6議案について、慎重に審査を行った結果、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。

また、今回新たに提出された陳情3件のうち、「女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出について」は、現時点では、国の調査検討、議論を見守ることが適当と考えたといった意見などを受け、採決の結果、「研究留保」と決定し、そのほか2件の陳情については、討論、採決の結果、「不採択」と決定した。



## 福祉生活病院常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の補正予算や鳥取県青少年健全育成条例の一部改正など5件の議案について、慎重に審査を行い、いずれも原案どおり可決すべきものと決定した。

また、新たに提出された陳情4件について慎重に審査を行った結果、私学助成に関する意見書の提出を求める陳情については、採択と決定し、国への意見書を委員会から発議することを決定した。

そのほか9月2日に、鳥取環境大学、衛生環境研究所及び県立中央病院における新型コロナウイルス感染症への対応状況、鳥取赤十字病院における抗原検査に関する調査をWEB会議にて行った。



## 農林水産商工常任委員会

9月定例会では、本委員会所管の「令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第5号)」、全国初の条例で県有種雄牛の遺伝資源を知的財産として位置づけることなどを明記した「鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例」や9月26日から27日に発生した豪雨被害に対応するために追加提案された「令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第6号)」など4件の議案について、慎重に審査を行った結果、いずれも原案どおり可決または承認すべきものと決定した。

県内調査では、7月に八頭郡を訪問し、リニューアルした春米発電所の概要、コロナ禍における新しい働き方への取組やインターネットを活用した農産物の販路拡大について調査した。



## 地域づくり県土警察常任委員会

9月定例会では、令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第5号)など8議案について慎重に審査を行い、いずれの議案も妥当なものと認め、原案のとおり可決すべきものと決定した。併せて、新たに提出された陳情「美保基地への空中給油・輸送機KC46Aの配備に反対することについて」を、防衛は国の専権事項であること、また、米子市及び境港市が既に同意していること等から不採択とすることに決定した。さらに、国の「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」が今年度で終了するため、引き続き必要な対策の実施を求める「防災・減災、国土強靱化対策の継続を求める意見書」の提出について、当委員会から発議することとした。



自由民主党													会派民主					公明党			無所属			賛成者数	反対者数	表決者数	議決結果								
浜田	中島	内田	内田	齊木	浜崎	西川	広谷	野坂	島谷	川部	福田	藤縄	西村	坂野	森	尾崎	浜田	興治	伊藤	福岡	濱辺	澤	銀杏					福浜	市谷	山川	由田				
一哉	規夫	隆嗣	博長	正一	晋一	憲雄	直樹	道明	龍司	洋	俊史	喜和	弥子	経三郎	雅幹	薫	妙子	英夫	保	裕隆	義孝	紀男	泰利	隆宏	知子	智帆	隆								
議案に対する賛否																																			
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33	1	34	可決
委員長報告に対する賛否																																			
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	9	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	25	9	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	32	2	34	不採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	32	2	34	趣旨採択
○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	33	1	34	不採択

議決結果…議案は「可決」「否決」「同意」「承認」「認定」等の区分による。  
 …請願・陳情は「採択」「趣旨採択」「研究留保」「不採択」の区分による。

議案等番号	件名	議決結果
⑱	鳥取県公安委員会委員の任命について	同意
⑲	鳥取県教育委員会委員の任命について	同意
⑳	令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第6号)	可決
❶	ドクターヘリの安定的かつ持続的な運航に対する支援を求める意見書	可決
❷	防災・減災、国土強靱化対策の継続を求める意見書	可決
❸	私学助成の充実強化等に関する意見書	可決
陳情2年-22	私学助成に関する意見書の提出について	採択
陳情2年-26	消費生活相談における相談結果の伝達方法について	趣旨採択
陳情2年-27	女性差別撤廃条約選択議定書の早期批准を求める意見書の提出について	研究留保

### 令和2年8月臨時会付議案等議決結果 (全会一致で議決された議案)

議案等番号	件名	議決結果
①	鳥取県新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例 (修正)「鳥取県新型コロナウイルス感染拡大防止のためのクラスター対策等に関する条例」の修正	修正議決
②	令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第4号)	可決
③	令和2年度鳥取県宮病院事業会計補正予算(第3号)	可決
付帯意見	(議案第1号関係)	決定

## 令和2年9月定例会付議案等議決結果（賛否が分かれた議案及び否決された議案）

議案等番号	件名	委員長報告	自由民主党						
			松田正	藤井一博	鹿島功	山口雅志	安田由毅	常田賢二	語堂正範
③	令和2年度鳥取県営病院事業会計補正予算(第4号)		○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-21	日本国憲法第53条における臨時会召集について、法令等で召集期限を設定することを求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-23	地方消費者行政の拡充を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-24	国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める意見書の提出について	不採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-25	保健所の機能強化を求める意見書の提出について	趣旨採択	○	○	○	○	○	○	○
陳情2年-28	美保基地への空中給油・輸送機KC46Aの配備に反対することについて	不採択	○	○	○	○	○	○	○

【凡例】 議案等番号…○数字は知事提出議案、●数字は議員提出議案  
 賛否欄…「○」賛成、「×」反対、「議」議長。

※請願・陳情は、委員長報告に対して、賛成であれば「○」、反対であれば「×」と記載した。

## 令和2年9月定例会付議案等議決結果（全会一致で議決された議案）

議案等番号	件名	議決結果
①	令和2年度鳥取県一般会計補正予算(第5号)	可決
②	令和2年度鳥取県天神川流域下水道事業会計補正予算(第1号)	可決
④	鳥取県産和牛の保護及び振興に関する条例	可決
⑤	鳥取県税条例の一部を改正する条例	可決
⑥	職員等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部を改正する条例	可決
⑦	鳥取県情報公開条例の一部を改正する条例	可決
⑧	鳥取県青少年健全育成条例の一部を改正する条例	可決
⑨	鳥取県延滞金徴収条例及び鳥取県道路占用料等徴収条例の一部を改正する条例	可決
⑩	工事請負契約(鳥取県立倉吉未来中心舞台機構設備改修工事)の締結について	可決
⑪	工事請負契約(国道178号(岩美道路)トンネル工事(牧谷トンネル)(補助))の締結について	可決
⑫	工事請負契約(国道178号(岩美道路)橋梁上部工事(浦富高架橋)(3工区)(補助))の締結について	可決
⑬	工事請負契約(国道178号(岩美道路)橋梁上部工事(浦富高架橋)(4工区)(補助))の締結について	可決
⑭	財産を無償で貸し付けること(放牧場用地)について	可決
⑮	損害賠償に係る和解及び損害賠償の額の決定について	可決
⑯	令和元年度鳥取県営電気事業会計未処分利益剰余金の処分及び令和元年度鳥取県営企業決算の認定について	継続審査
⑰	令和元年度鳥取県営病院事業決算の認定について	継続審査



## 特集

# 正副議長にインタビュー



改選後の昨年5月臨時会で選出された、藤縄喜和議長（鳥取市選挙区、5期）と、福田俊史副議長（八頭郡選挙区、3期）。就任から1年半を経過したお二人に、コロナ禍の今、県議会の代表としての思いなど、お話を伺いました。

### 藤縄喜和議長

― 議長になられて1年半。はじめて議長席に座られたときはいかがでしたか。

言論の府としての議会を担う重責をひしひしと感じたことは、今も鮮明に覚えています。

― 振り返って印象に残っていることは。

やはり新型コロナウイルス対策です。県議会新型コロナウイルス感染症対策代表者会議を設置するなど、議会内でも対応に追われました。今年の8月臨時会で知事提案のクラスター対策条例を修正議決したことも大きな出来事でした。

また昨年は平成から令和への御代替わりに際し、県議会議長として即位の礼に参列させていただきました。鳥肌が立つような経験で本当に感謝です。

― 新元号に変わったお祝いムードが一転、翌年に新型コロナウイルスが起きるといふ今の状況は誰も想像しませんでした。コロナ禍の今、議長としてどのようなことに取り組みたいですか。

第一に、議会から感染者を出さないよう乗り切りたい。それから、議会改革の取組の一つとして、議員が政策条例をより積極的に提案できるよう、議会内に政策条例等検討委員会を新たに設けました。議員が提案した条例は、平成25年11月定例会（歯と口腔の健康づくり推進条例）のとき以降、しばらく途絶えていますので、これからは県民の声を反映した議員提案による条例制定がもっと増えることを願っています。

― 政治を志している若者へエールをお願いします。

政治の舞台は、必ずしも議員になることだけではありません。いろんなステージがありますから、そこに一歩踏み出して、小さいことからでもいいので、一人一人が主役のつもりで政治に関わってほしいと思います。若い皆さんに期待しています。



### 福田俊史副議長

― 副議長になられて、身の回りで変わったことはありますか。

県内あちこちに行かせていただいたり、テレビなどに声をかけていただく機会が増えましたね。

― 確かにメディアでよくお見かけしますし、同い年の議員として、私も副議長の存在は心強いです。ところで、休日とはどのように過ごしておられますか。

土日は地元の行事に出向いて、県民の皆様とお会いするようにしています。休日家でゆっくりするほうが落ち着かなくて（笑）。できる限り現場に行き、現場の声を聞くことをしっかりやっていきたいと思っています。

― アフターコロナに向けて、副議長として取り組みたいことは。

コロナ禍をチャンスに変えたい。地元の若桜鉄道や大江ノ郷をはじめ、県全体の観光資源を輝かせて、インバウン

〈聞き手〉県議会広報委員会  
西村弥子委員

ドが戻ってくるまでの間、身近なところでのマイクロツーリズムを推進していきたいと思っています。

県内のことで意外と知らないことも多いので、修学旅行等も含め鳥取県のいいところをもっと巡って、経済活動につなげていけるよう是非応援していきたいですね。

― 最後に、政治を志す県内の若者にメッセージをお願いします。

今、ふるさとを元気にしたいと公務員を目指す方も多いと思いますが、そういった方々にこそ、政治家を目指してほしい。ハードルが高いイメージがあるかもしれませんが、私たち若手の議員が活躍することで、若い人たちが県議会を志すきっかけになればと思います。

― そうですね。誰もが身近に感じてチャレンジできるよう、もっと地域の若い世代の方々と意見交換するようなことにも取り組んでいきたいですね。本日はありがとうございました。



## 政策条例等検討委員会を新設

6月定例会で設置に関する会議規則の改正を行い、10月7日、委員長に内田博長議員を、副委員長に興治英夫議員を選出し、運営要綱を決定しました。

この委員会は全議員で構成し、検討すべき政策課題ごとに小委員会を設置して政策条例案等を作成します。その後、全体会で協議・調整を重ね、最終的に議員提出議案として本会議への提案を目指します。